

平成30年9月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(9月10日、11日 2日間)

○9月10日(月)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
無所属 山名 文世	3 図書館について	(1) 利用状況及び蔵書貸出冊数について	図書館	1
		(2) 嘱託員等の見直し及び専門性向上について	図書館	3
		(3) 指定管理者制度について		
		ア 公募について	図書館	5
		イ 指定管理業務の効果について	図書館	6
		ウ 自主事業について	図書館	7
きずなクラブ 三浦 博司	1 小学校における学校施設整備について	(1) 修繕要望について		
		ア 現状について	教育総務課	9
		イ 今後の修繕の見通しについて	教育総務課	11
		(2) 冷房設備の整備について		
		現状と見通しについて	学校教育課	12
日本共産党議員団 苫米地 あつ子	1 平和行政について	(2) 長崎原爆展について		
		ア 開催状況について	博物館	13
		イ アンケート結果と今後について	博物館	14
	4 LGBTへの理解と支援について	小中学校における実態と取り組みについて	総合教育センター	15
自由民主・市民クラブ 小屋敷 孝	2 教育行政について	学校適正配置事業について		
		ア これまでの進捗状況について	学校教育課	16
		イ 今後の進め方について	学校教育課	17
	3 史跡是川石器時代遺跡整備について	(1) 第1期整備事業の概要について	是川縄文館	18
		(2) 市民との協働について	是川縄文館	19
		(3) 世界遺産登録に向けた取り組みと今後の予定について	是川縄文館	20

(裏面につづく)

平成30年9月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(9月10日、11日 2日間)

○9月11日(火)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
無所属 伊藤 圓子	5 ゲーム障害等ネット依存について	(1) スマートフォン等の所有と利用の現状について	教育指導課	21
		(2) ゲーム障害等ネット依存の現状と対策について	教育指導課	22
		(3) 相談体制等について	こども支援センター	23
自由民主・市民クラブ 高橋 一馬	3 教育行政について	(1) 新学習指導要領について		
		ア 主体的・対話的で深い学びについて	教育指導課	24
		イ 小学校英語教育について	教育指導課	25
		(2) スポーツ・文化活動、部活動への大会派遣補助について	学校教育課	27
公明党 夏坂 修	3 教育行政について	(1) 学校におけるICT環境整備について	総合教育センター	28
		(2) プログラミング教育について	総合教育センター	29

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	3 図書館について
発言の要旨	(1) 利用状況及び蔵書貸出冊数について
質問内容	図書館の利用状況の現状と、利用状況の改善のための今後の対応策について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○図書館の入館者数について、本館は、27年度380,260人、28年度363,833人、29年度357,132人である。南郷図書館は、27年度92,761人、28年度86,642人、29年度87,893人である。図書情報センターは、27年度75,221人、28年度71,202人、29年度67,521人となっている。</p> <p>○貸出冊数について、本館は、27年度627,382冊、28年度624,372冊、29年度628,386冊である。南郷図書館は、27年度70,279冊、28年度64,196冊、29年度66,078冊である。図書情報センターは、27年度55,321冊、28年度52,676冊、29年度50,115冊となっている。</p> <p>○貸出利用者数について、本館は、27年度170,588人、28年度167,261人、29年度167,552人である。南郷図書館は、27年度18,030人、28年度16,851人、29年度17,393人である。図書情報センターは、27年度19,553人、28年度17,693人、29年度16,846人となっている。</p> <p>○蔵書回転率は、全体で、27年度149.2%、28年度140.6%、29年度138.8%となっている。</p> <p>○図書館の役割は、多種多様な出版物を収集・保存し、これらの資料を様々なサービスを通じて市民に提供することであり、これまで各館では利用促進のため、各種テーマによる展示・貸出や、幼児・児童を対象としたお話し会、大人を対象とした市史講座、古文書解読講習会等を開催してきた。</p> <p>○貸出利用者を年代別に見ると、60代以降の利用が多く、10代の中学生・高校生の利用が少ないことから、今後は中学生向けの利用案内の配布や、10代向けの図書を集めたティーンズコーナーの充実等に取り組んでいく。</p> <p>○また、利用実態及び要望等を把握するため、利用者アンケートを実施し、要望等を図書館の各種施策に反映させ、利用促進に繋げていく。</p>
担当課	図書館

## ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	<p>市民一人当たりの年間貸出冊数について、どのように向上させていくのか。いろいろと検証する余地があるのではないかと。</p> <p>全国的な蔵書回転率の平均は、193.4%であるが、八戸市の場合は、それを下回っているようである。特に、移動図書館、分室は100%未満ということも指摘されているため、きちんと正していく必要がある。</p> <p>貸出冊数を増やすための施策はあるのか。</p>
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>今後、どのような形で貸出冊数を増やしていくのかということも含め、様々な手立てを講じたいと考えている。また、アンケートをとりながら、課題等を把握した上で、今後の方向性を検討していきたい。</p>

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	3 図書館について
発言の要旨	(2) 嘱託員等の見直し及び専門性向上について
質問内容	図書館職員数の現状と、職員の専門性を高めるための今後の対応について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○図書館では、図書館利用者への専門的なサービスの向上を図るため、資料収集・整理、読書案内、情報検索技術等の図書館業務に関する専門的な知識を持った司書を配置している。</p> <p>○29年度は、本館の正職員13名のうち、司書は4名、嘱託員10名のうち、司書は2名であり、合わせて司書は6名であった。</p> <p>○30年度の正職員数及び嘱託員数は、29年度と変わらないが、司書の数は、正職員が6名、嘱託員が4名であり、合わせて10名となったことから、昨年度より4名増加している。</p> <p>○総職員数に占める司書数が増えることにより、図書館利用者が必要とする資料や情報の提供を行うサービス等の質が向上し、利用者数の増加につながるものと期待している。</p> <p>○図書館職員の配置については、専門性を必要とする業務が多いことから、専門職の一定数の維持、中長期的な期間の配置、図書館勤務経験者の再配置等を考慮していく必要があると認識している。</p> <p>○また、資格を持たない職員に対しても、知識習得・資質向上のため、初級から上級向けと段階に応じた業務研修、児童サービスや資料保存などの専門的な研修を受講させている。</p> <p>○こうした取組みを通して、限られた人材を最大限に活かしながら、今後もより質の高いサービスが提供できるよう、努めて参りたい。</p>
担当課	図書館

## ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	八戸市立図書館における、市民一人当たりの年間貸出冊数は、恵庭市立図書館に比べ、大きな開きがある。司書がきちんと配置されているのか。一つの望ましい目標規準例として、包括外部監査報告書によると、人口 30 万人までの段階における専門職員に占める司書率が 46.2%とされているが、八戸市立図書館の場合、「本館の正職員 8 人に対して、司書は 2 人となっており、25%にとどまっている」という、包括外部監査からの指摘がある。嘱託員等の見直しを含め、改善策をどのように考えているのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	30 年度の本館については、正職員 13 名中、6 名が司書であり、50%には満たないものの、かなりの人数を配置している状況である。これからも専門職の確保に努めて参りたい。

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	3 図書館について
発言の要旨	(3) 指定管理者制度について ア 公募について
質問内容	指定管理者公募について、競争性が確保される対策について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○現在、八戸市においては、二つの分館である南郷図書館と八戸市図書情報センターに、指定管理者制度を導入している。</p> <p>○21年度からの指定管理者制度導入第1期目、24年度からの第2期目並びに27年度からの第3期目に際し、公募を実施したが、いずれも1社のみ応募となっている。</p> <p>○29年度包括外部監査結果報告書において指摘されているとおり、公募によって複数業者が応募し、競争原理が働くことの重要性は、十分認識している。</p> <p>○このため、32年度からの第4期目の指定管理者選定にあたっては、他都市の指定管理者制度を導入している図書館の状況を参考にしながら、より良い制度のあり方について検討していく。</p>
担当課	図書館

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	3 図書館について
発言の要旨	(3) 指定管理者制度について イ 指定管理業務の効果について
質問内容	指定管理業務についてどのような効果があるのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○指定管理者制度導入の目的は、経費の削減等を図るとともに、民間事業者等のもつノウハウを活かし、より効果的で効率的な図書館運営により、住民サービスの向上を図ることである。</p> <p>○分館である南郷図書館と図書情報センターは、本館である八戸市立図書館と比較すると、施設規模が小さいこと、取扱い資料や配置職員数が少ないことに加え、図書館資料の選定や購入といった図書館の基幹的業務を本館が集約して行うことで、本館を中心に円滑な業務運営を行うことが可能であることから、21年度より導入している。</p> <p>○導入の効果については、経費削減効果はもちろんのこと、一定数の司書を配置することで、専門的なサービスが提供されている。また、指定管理者が有する図書館業務のノウハウが生かされた企画展示やイベントは、住民サービスの向上につながっていると考えている。</p> <p>○ここ数年の貸出冊数は減少傾向にあるが、指定管理者制度の導入前と導入後の年間平均貸出冊数を比較すると、南郷図書館では、導入前の 33,947 冊に対し、導入後は 64,340 冊となり、30,393 冊の増加である。図書情報センターでは、導入前の 39,056 冊に対し、導入後は 56,938 冊となり、17,882 冊の増加となっており、指定管理者制度導入が、図書館の利用向上につながっていると考えている。</p>
担当課	図書館

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
--------	--



## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	3 図書館について
発言の要旨	(3) 指定管理者制度について ウ 自主事業について
質問内容	自主事業について、指定管理者は経費の混同がないように実施しているのかどうか。また、市は正確な指定管理総合評価表を提出しているのかどうか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○「自主事業」は、指定管理者の自主財源で実施される事業であり、図書館の指定管理者が行う「自主事業」は、自動販売機設置事業のみで、利用者の利便性を図るために設置している。</p> <p>○指定管理者の会計処理は、適正に行われているものであり、図書館では事業報告書に基づき、毎年、確認している。</p> <p>○そうした中で、指定管理者から毎年提出される事業報告書には、指定管理業務の一つに、「自主的事业」として報告されている事業がある。</p> <p>○図書館では、毎年、指定管理者総合評価表を作成するが、その際、「自主事業」と「自主的事业」を混同し、本来、評価表の自主事業欄には、自動販売機設置事業を載せるべきところを、「自主的事业」と表記されていた指定管理業務を、これまで記載していたものである。</p> <p>○このことは、昨年度、実施された包括外部監査で指摘されたものであり、今年度は、正確な記載に努めている。</p> <p>○指定管理者の業務は、正しく運営されていたものであるが、図書館の事務上の誤りで、このような指摘を受けたものであり、今後は、このようなミスのないよう、注意を徹底していく。</p>
担当課	図書館

## ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	指定管理者制度における「自動販売機設置事業」の報告について、「自主事業」と「自主的事业」との勘違いであるとして、これを正しているということであるが、「自動販売機設置事業」については、「指定管理料からの支出は認められていない」ということになっている。当然、営利で自動販売機を設置するため、自己財源で賄われなくてはいけないものを、「経費の混同があり、使ってはいけない指定管理料からこれが賄われているのではないか」という指摘があるようだが、この辺の違いは、どのようになっているのか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	指定管理者自体による「自動販売機設置事業」については、自主財源によって実施している。経費の収支については、きちんと把握して、確認をしている。指定管理業者自体による間違いはない状況である。

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	「自動販売機設置事業」について、「指定管理料から支払われている」との指摘に対し、「きちんと行われている」ということになれば、逆に、包括外部監査報告に対し、それなりの協議を申入れながら、正していかなければならないのではないかと。既に包括外部監査の報告書に載っていることから、「八戸市が、なにかしら失態をおかしている。」というようなイメージにとられてしまうのではないかと。したがって、報告書の訂正を求めたり、市からの説明がなければ、「こういうミステイクをやっている」と思われるため、きちんと正していただきたい。

質問者(議員名)	三浦 博司 議員
発言事項	1 小学校における学校施設整備について
発言の要旨	(1) 修繕要望について ア現状について
質問内容	小学校施設の状況、修繕の現状、優先順位の決め方及び財源について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○小学校施設における修繕要望の現状は、小学校全 43 校のうち約 7 割の施設が築 30 年以上を経過している状況にある。</p> <p>○修繕に当たっては、毎年 6 月に全小学校を対象に修繕要望のアンケート調査実施後、現地調査していて、今年度は 499 件の要望があった。</p> <p>○主要な要望としては、雨漏りへの対応が最も多く、続いて校舎の屋根や外壁の改修、屋内運動場の屋根や床の改修、校庭の排水改善などが挙げられている。</p> <p>○修繕の優先順位付けとしては、まず児童等の安全性に関わるものか、次に教育活動や施設利用に支障をきたすものか、さらに学校施設周辺の地域に悪影響を及ぼす恐れがあるかなどを考慮して緊急性を判断し、修繕の優先順位を決定している。</p> <p>○また、財源については、国庫補助や起債の活用を検討することとしている。</p> <p>○今後も引き続き施設の状況を的確に把握し、児童の安全安心及び教育環境の改善に資するよう、有利な財源を確保しながら、着実に施設の修繕に努めていく。</p>
担当課	教育総務課

## ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	老朽化による汚損・破損している校舎で 6 年間を過ごさなければならない児童の心情をどのように受け止めているのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○小学校 6 年間は、心身ともに著しく成長する時期であり、そのような大切な時期を安全で快適な環境で送らせたいという思いは、保護者や現場の教職員と同じである。</p> <p>○今後も児童一人一人が、豊かな学校生活を送れるように、より良い教育環境や授業の充実に努めて参りたい。</p>

## 資料（提出様式）

## ◎再々質問

再々質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	予算の編成権者として、施設整備の緊急性の高い所などの確認のため、視察すべきと考えるがどうか
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○学校施設の老朽化が進行していることは、周年行事で訪問することや、財政課への予算要求の資料を参照することを通じて認識している。 ○議員の提案する視察については、担当課から状況を確認し、必要性を検討して参りたい。

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	三浦 博司 議員
発言事項	1 小学校における学校施設整備について
発言の要旨	(1) 修繕要望について イ 今後の修繕の見通しについて
質問内容	今後、長寿命化計画を策定し、改修を進めるとのことだが、当計画に基づく改修について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○これまでの学校施設の維持管理は、事後保全的な改修を実施し、40年から50年後に改築することを前提とするもので、本市においては、築30年経過している小学校施設が約7割に達している状況にあり、老朽化による修繕費用が年々増加傾向にある。</p> <p>○現下の厳しい財政状況の中、従来の手法で対応していくことは、困難であることが見込まれていて、トータルコストの縮減や予算の平準化を図るため、中長期的な視点に立った長寿命化計画の策定が、国から求められている。</p> <p>○長寿命化計画は、施設建設から20年後に予防保全的に外装・内装等の改修等による大規模改造を行い、40年後にコンクリートの中性化対策等による長寿命化改修を行い、さらに60年後に、再度大規模改造を行うもので、構造躯体を70年以上使用するとともに、安全で安心な教育環境の整備を目指すものである。</p> <p>○なお、改修に当たっては、多額の費用を要することから、文部科学省の長寿命化改修に係る補助事業の活用を予定していて、そのためには、32年度までに計画を策定することが、求められている。</p> <p>○今後は、当該年度までに計画を策定し、学校施設の長寿命化に向け、効率的で効果的な改修を図りたいと考えている。</p>
担当課	教育総務課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	三浦 博司 議員
発言事項	1 小学校における学校施設設備について
発言の要旨	(2) 冷房設備の整備について 現状と見通しについて
質問内容	小学校における、冷房設備の整備の現状と見通しについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○全国的に猛暑が続き、児童生徒への健康被害が心配される状況にある。</p> <p>○当市においては、体調不良等を訴える児童生徒の症状を緩和させる環境を整備するとともに、避難所としての機能を向上させる目的で、保健室への空調設備設置に取り組んでいる。</p> <p>○今年8月までに、市内小学校 22 校への設置が完了し、残り 21 校については 31 年度中の設置を目指している。</p> <p>○空調設備を設置した学校からは、気温が高い日だけでなく、湿度の高い日の除湿にも、効果的であると聞いている。</p> <p>○また、学校行事において、一度に多くの児童が保健室を利用した際に、「待っている子どもが体調を悪化させずにすんだ」「鼻血がとまりやすかった」「熱疲労が見られた児童も、少しの休養で回復した」等の報告もあった。</p> <p>○保健室以外の教室においては、扇風機を使用し、空気を対流させることで、暑さを和らげる対応をしている。</p> <p>○また、水筒持参によるこまめな水分補給や、暑さに合わせた衣服の調節等を指導するとともに、暑さ指数に応じた活動内容の変更や休憩時間の設定に配慮するなど、熱中症の予防対策に努めている。</p> <p>○市教委としては、全小学校の保健室への空調設備設置を目指すとともに、その効果や課題を検証し、今後の学校施設の整備について研究していく。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	1 平和行政について
発言の要旨	(2) 長崎原爆展について ア 開催状況について
質問内容	長崎原爆展の開催状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○「長崎原爆展」は、長崎原爆資料館及び公益財団法人長崎平和推進協会との共催により開催し、戦争や原爆の実態や、平和の尊さを伝えるというものである。</p> <p>○開催期間及び日数は、7月14日から9月2日までの46日間で、入館者は、1,901名である。</p> <p>○来館者は、女性が6割、市外から3割、幅広い世代に来館いただいた。</p> <p>○今回、新たな試みとして、展覧会期間中1日2往復で5日間、市庁前からシャトルバスを運行し、43名の方にご利用いただいた。</p> <p>○主な展示品は、実物資料や原爆投下翌日に撮影された記録写真等93点の資料に加え、米国のオバマ前大統領から長崎市に贈られた折鶴である。</p> <p>○これらの展示の他、原爆関連映像の上映や関連図書の紹介を行った。</p> <p>○併催行事として、7月14日に長崎市の被爆体験者による講話を2回行い、参加者は73名であった。</p> <p>○当展覧会は、南郷歴史民俗資料館開館以来3番目に多い来館者数であり、平和の尊さを広く伝えることができた。</p>
担当課	博物館

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	1 平和行政について
発言の要旨	(2) 長崎原爆展について イ アンケート結果と今後について
質問内容	長崎原爆展のアンケート結果について伺いたい。また、アンケート結果の内容を今後、どのように生かしていくのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○アンケート項目は、「一番関心を持った資料について」、「原爆被爆の悲惨さや平和の大切さを感じる事ができたか」、「原爆展の感想・意見」等である。</p> <p>○「一番関心を持った資料について」は、「写真パネル」が圧倒的に多く、想像以上の原爆被害の恐ろしさと悲惨さを表す資料であるためと考える。</p> <p>○「原爆被害の悲惨さや平和の大切さを感じる事ができたか」は、ほぼ全員が「非常に感じる事ができた」と回答し、平和の尊さを伝えるという開催趣旨が来館者に充分伝わったものと受け止めている。</p> <p>○また、「原爆展の感想・意見」は、「戦争や原爆の悲惨さ、恐ろしさを知り、改めて平和の尊さを感じた」、「戦争や原爆使用は二度とあってはならない」との感想が多く寄せられた。</p> <p>○アンケート結果から、実物資料や写真の訴える力が大きいことがわかり、今後戦争に関する展覧会を開催する場合は、できるだけ実物資料を活用し、戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に伝えていく役目を果たしていく。</p>
担当課	博物館

## ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	(担当課 防災危機管理課) 核兵器禁止条約への対応について、市長の考えを伺いたい。 新たな事業の実施や平和首長会議などへ市長が出席する考えはないか伺いたい。
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○核兵器禁止条約への政府の対応については、国の専管事項であることから、政府が判断すべきものであると考えている。当市としては、様々な機会を通じて、平和に関する事業に取り組む。</p> <p>○平和に関する新たな事業の実施や会合への出席は、検討課題とする。</p>

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	



質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	4 L G B Tへの理解と支援についてについて
発言の要旨	小・中学校における実態と取り組みについて
質問内容	小・中学校における実態と取り組みについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○近年のL G B Tを取り巻く社会の急激な変化に伴い、文科省では、平成 27 年 4 月、全国の小・中・高等学校に対して「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」という文書を通知し、適切な対応を求めている。</p> <p>○このような状況の中、当市の過去 10 年間の教育相談において、L G B Tに関する相談事例は報告されていないが、学校現場における理解及び啓発への取組が必要であると認識している。</p> <p>○今年度 5 月、総合教育センターにおいて市内全小・中学校の生徒指導主任・主事を対象として、L G B Tへの正しい理解と児童生徒への適切な対応等について、広く学ぶことを趣旨とした講座を開催している。</p> <p>○次年度以降は、学校経営の核となる全小・中学校の管理職を対象とした講座として開催していきたいと計画している。</p> <p>○受講者からは、「今までL G B Tについて考えたり、授業で取り上げたりしたことはなかったが、今回の研修で、いろいろな思いを抱えた子どもがいることを知り、正しい知識をもって日々の指導にあたりたい。」との感想があった。</p> <p>○市教委としては、今後とも、L G B Tの児童生徒が確実に存在しているという視点に立ち、引き続き、人権教育として、さらにはいじめの未然防止として、まずは教職員の理解を深める取組を推進するとともに、児童生徒が相談できる体制づくりにも努めながら、互いに認め合う教育環境づくりに取り組んで参りたい。</p>
担当課	総合教育センター

## 再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	児童生徒が相談できる体制づくりの一環として、市内小・中学校へL G B Tへの理解につながる書籍等の配付を希望する。

質問者(議員名)	小屋敷 孝 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	学校適正配置事業について ア これまでの進捗状況について
質問内容	当市で取り組んでいる学校適正配置推進事業について、これまでの進捗状況を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市で取り組んでいる学校適正配置推進事業は、「八戸市学校適正配置検討委員会」による提言を踏まえて、平成 23 年 7 月に策定した「八戸市立小・中学校の学校適正配置に関する基本方針及び検討課題」に基づき進めている。</p> <p>○目的を「子どもたちの教育環境の充実」のただ一点に置き、適正規模の集団で行われるべき学校教育の実現に向けて、保護者や地域住民との話し合いを大切にしながら丁寧に進めてきている。</p> <p>○検討課題は、市内を 18 地区に分け、3 年程度を目安に早急に解決すべき短期課題、6 年を目安に解決すべき中期課題、10 年を目安に解決すべき長期課題に位置付けて取り組んでいる。</p> <p>○短期検討課題については、これまでに小学校 5 校、中学校 1 校が閉校して近隣の学校に統合、小学校 1 校が分離新設、2 地区で学区外通学許可基準の見直しを行うなど、29 年度までに概ねめどがついた。</p> <p>○中期検討課題は、6 地区で課題が挙げられ、28 年度から着手しているが、当初予定していた 6 年程度での解決からはやや遅れている状況である。</p> <p>○進め方は、当該地区の P T A 及び地域の代表者による意見交換会を開催し、児童生徒数の推計等をもとに、児童生徒の学習環境等における課題解決に向けて意見交換を重ねた後、検討委員会や代表者会議を立ち上げ、適正化の具体的方策について、合意が得られるよう話し合いを進めている。</p> <p>○地区によっては、延べ 40 数回の会議を経ながら、なかなか最終的な結論を得るまでに至っていない場合もあるが、今後も引き続き、子どもたちの教育環境の充実に向けて、丁寧に進めていく。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	小屋敷 孝 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	学校適正配置事業について イ 今後の進め方について
質問内容	中期検討課題の解決に向け、今後の取組方針と見通しについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○平成 27 年 1 月、文科省から「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が示され、「複式学級が存在する学校規模の場合は、一般に教育上の課題が極めて大きいため、学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある」旨の方向性が盛り込まれた。</p> <p>○平成 29 年 3 月には、新学習指導要領が公示され、小学校は 32 年度から、中学校は 33 年度から全面実施される。</p> <p>○これからの学校教育は、道徳の教科化や小学校における外国語活動・外国語科の充実をはじめ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教員の資質・能力の向上、適正な規模の学習集団で子どもたちが互いに学び合うことができる環境づくりがますます重要になる。</p> <p>○現在、取り組んでいる中期検討課題は、策定してから 7 年が経過しており、各小・中学校の児童生徒数及び学級数の推計等も策定当時と比べて変化し、当初は想定していなかった新たな課題も出てきていることから、優先度や緊急性を踏まえて対応していく必要がある。</p> <p>○児童生徒数の減少がますます進む中で、教育環境の適正化を計画的かつ円滑に進めるため、「適正配置に関する基本方針及び検討課題」の見直しについても検討していく必要があると考える。</p> <p>○拙速に陥ることなく、これまで同様、子どもたちの教育環境の充実に向けて、保護者や地域住民の十分な理解と協力を得るなど、「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた議論を行うことができるよう、丁寧に進めていく。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○地域コミュニティの中心として学校に対する強い思いがあるのは当然であるが、教育委員会として一定の方針を示すことも必要であると思われる。</p> <p>○これまでどおり地域の声に丁寧に耳を傾けながらも、タイミングを逃さず、適時・適切な指導・助言をしていただくことが大切であると思うので、「子どもたちの教育環境の改善・充実」を着実に進めていただきたい。</p>

質問者(議員名)	小屋敷 孝 議員
発言事項	3 史跡是川石器時代遺跡整備について
発言の要旨	(1) 第1期整備事業の概要について
質問内容	史跡是川石器時代遺跡の第1期整備事業の概要について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○本事業は「祖先の歴史を明らかにして、将来に伝え、現代に活かす」をテーマに、調査研究に基づいた縄文人の自然利用や技術、生活の有り様を体感する遺跡空間の整備と、市民とともに考え取り組む、整備活用体制の構築を基本理念として進めるものである。</p> <p>○第1期整備事業では、縄文時代晩期中居遺跡のムラと周辺環境、及び縄文時代前期から中期の一王寺遺跡のムラにおける貝塚の復元を計画している。</p> <p>○中居遺跡の整備では、是川考古館などの既存施設を撤去し、史跡を保護する盛土を行った上で遺跡を復元する。縄文学習館は、史跡解説のガイドンス施設として、展示や館内設備の改修・更新を行う。史跡内に新たな見学ルートを設け、景観に配慮した園路や道路の舗装、案内解説板等の諸施設の整備を進める。一王寺遺跡の整備においても、史跡保護の盛土を行った上で貝塚を復元する。</p> <p>○今年度中に基本設計を取りまとめ、31年度から実施設計の策定及び既存施設の撤去を開始し、32年度から具体的な復元整備に着手する予定である。38年度までの工期を予定するが、整備完了部分から順次、供用したい。</p>
担当課	是川縄文館

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	小屋敷 孝 議員
発言事項	3 史跡是川石器時代遺跡整備について
発言の要旨	(2) 市民との協働について
質問内容	史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業における市民との協働について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○第1期整備事業では、公開活用に関する基本理念として、市民とともに考え取り組む整備活用体制の構築を掲げている。</p> <p>○本事業では、中居遺跡の当時の自然環境を再現するため、クリやトチノキなどの林の整備を予定し、市民とともに苗木の育成や植樹から、木の実の収穫、伐採までの循環する縄文人の植物利用を体験できる場を提供する計画としている。</p> <p>○一王寺遺跡の貝塚の復元では、使用する貝類の収集について、市民に協力をお願いし、ともに貝塚をつくり上げていくことも検討している。</p> <p>○また、是川地域の方に「里山アドバイザー」として、史跡の植栽維持管理や、地元に伝わる植物利用の伝統技術及び民俗文化に関する御助言をお願いすることを予定している。</p> <p>○こうした整備に伴い、縄文の森の清掃や、竪穴建物などの遺跡の維持管理、縄文の森を活用した体験学習など、市民の参画を促す取り組みを予定している。</p> <p>○これまで御支援いただいている地域の方々をはじめ、各民間団体を軸として、広く市民との協働による史跡づくりを進めていく。</p>
担当課	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恒久的な維持管理体制の構築を民間団体や市民とともに進めてほしい。</li> <li>・国では文化財を観光資源として活用することを推進している。</li> </ul> <p>八戸市としても、組織的かつ一体的な史跡活用に取り組んでほしい。</p>

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	小屋敷 孝 議員
発言事項	3 史跡是川石器時代遺跡整備について
発言の要旨	(3) 世界遺産登録へ向けた取り組みと今後の予定について
質問内容	史跡是川石器時代遺跡の世界遺産登録に向けた取り組みと今後の予定について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市では、世界遺産登録に向けた講演会やパネル展、縄文遺跡群の出土品を借用した特別展を開催するなどの取り組みを進めてきた。毎年8月に開催している「これかわ縄文まつり」においても、主催者である八戸縄文保存協会と連携し、世界遺産登録に向けた普及活動を行っている。また、共同推進体制では、これまで担当者による会議を通じ、推薦書案作成事業等に取り組んできた。</p> <p>○本年7月の文化審議会世界文化遺産部会において、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が次期国内推薦候補に選定され、現在、推薦書案の改訂作業を進めている。</p> <p>○今後、平成31年2月までに政府による国内推薦遺産の決定とユネスコへの推薦書提出があり、平成31年内のユネスコの専門機関の現地審査を経て、平成32年の世界遺産委員会の審議及び決議によって世界遺産登録となる予定。</p> <p>○史跡是川石器時代遺跡の価値を市民全体で共有し、後世に伝えていくため、世界遺産登録への理解を深めていただく取り組みを継続し、さらなる気運醸成を図るとともに、最短での世界遺産登録を目指して取り組んでいく。</p>
担当課	是川縄文館

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	・世界遺産登録を進めるにあたって、イコモス(ユネスコ専門機関)の現地審査などで地域住民の理解と協力が必要となる。今後も地域住民と緊密に連携して取り組んでほしい。

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	5 ゲーム障害等ネット依存について
発言の要旨	(1) スマートフォン等の所有と利用の現状について
質問内容	児童生徒のスマートフォン等の所持率やインターネットの利用状況と想定される課題について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市で実施した平成30年度学力実態調査のアンケートによると、八戸市内の小学校5・6年生と中学生のスマートフォン等の所持率は54.0%となっており、昨年度の調査と比較すると5.2%増加している。</p> <p>○また、78.7%の児童生徒が家庭でインターネットを利用し、16.7%の児童生徒が1日2時間以上の利用となっており、昨年度より小・中学生ともに家庭での利用率や利用時間が増加している。</p> <p>○インターネットの主な利用については、動画視聴やゲーム、SNSの利用が多い状況である。</p> <p>○インターネットの利用により、個人情報の流出やSNSを介してのいじめ等のトラブル、長時間利用による生活リズムの乱れ等の健康被害が懸念されている。</p>
担当課	教育指導課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	5 ゲーム障害等ネット依存について
発言の要旨	(2) ゲーム障害等ネット依存の現状と対策について
質問内容	市内小・中学校におけるゲーム障害等ネット依存の現状、及びその対策はどのように行っているかについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○学校現場でもインターネットやゲームの長時間利用が問題となっている。</p> <p>○インターネットやゲームの長時間利用により、家庭学習時間や睡眠時間が削られ、成績の低下や生活リズムの乱れを招いている現状がある。</p> <p>○さらには、生活リズムの乱れによって不登校に陥るケースも報告されている。</p> <p>○学校では、道徳や総合的な学習の時間をはじめとする授業や専門的な知見のある講師を招いての「情報モラル教室」、児童生徒自身が決めるルールづくりなどを通して、適切なインターネット利用についての指導に努めている。</p> <p>○保護者に対しても、学校だよりや保護者集会等で家庭でのルールづくりを推奨するなどして意識啓発を図っている。</p> <p>○市教育委員会では、学校訪問や生徒指導研究協議会を通して、インターネットトラブルの現状や重点指導事項等について、周知するとともに指導・助言をしている。</p> <p>○また、市連合PTA、小・中学校長会と連携し、平成27年度から、毎年新たにリーフレット『インターネットトラブル防止』のための3つの提言』を作成し、児童生徒や保護者への意識啓発を図っている。</p> <p>○さらには、今年度から「ネット情報モラル支援事業」を立ち上げ、学校で開催する児童生徒や保護者・地域住民を対象とした「情報モラル教室」を支援し、学校における取組の充実を図っている。</p> <p>○市教育委員会としては、今後も市連合PTAや関係機関等と連携を図りながら、児童生徒が安全にインターネットを利用できる環境づくりの推進に努めていく。</p>
担当課	教育指導課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	小学校中・低学年や就学前の子どもも使用している。また、保護者が乳児期から与え、使用させていることから、小学校中・低学年段階での利用状況の調査や様々な関係機関が連携しての乳幼児も含めた取組や対策も必要であるとする。



質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	5 ゲーム障害等ネット依存について
発言の要旨	(3) 相談体制等について
質問内容	八戸市における、ゲーム障害やネット依存についての個別の相談体制について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市教委では、様々な相談を少年相談センターやこども支援センターで受け付けている。</p> <p>○特に相談の多い不登校や問題行動の要因の中には、ゲームやネット依存、それによる生活リズムの乱れなどの内容が含まれているため、目に見える行動だけでなく、その背景にあるものにも目を向け、適切に対応していくことが求められている。</p> <p>○このようなことから、学校や医療機関、臨床心理士、SSW等と連携しながら、個々の問題の解消に向けて相談を継続している。</p> <p>○また、ゲーム障害やネット依存への理解と予防への取組として、3年前より国内で唯一のネット治療研究部門を開設し、治療を行っている神奈川県横須賀市の久里浜医療センターから講師を招いての市民教育公開講座や教職員を対象とした研修講座を開催している。</p> <p>○ゲーム障害やネット依存は、健康面や生活面の問題へも配慮していく必要があることから、今後も医療機関等と連携しながら、充実した相談が行われるように努めていく。</p>
担当課	こども支援センター

## ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	世界保健機関から出された基準に基づいた調査をすることについての所見を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○今年6月に世界保健機関が、あらたな国際疾病分類を公表し、「ゲーム障害」が正式に疾病として認定された。</p> <p>○今後、ゲーム障害やネット依存の児童生徒の実態を把握し適切に対応していくためにも、調査について研究していきたい。</p>

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	高橋 一馬 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(1) 新学習指導要領について ア 主体的・対話的で深い学びについて
質問内容	平成 29 年 3 月に公示された新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの実現が示されているが、市教委としての対応について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○「主体的・対話的で深い学び」は、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を、児童生徒に育成する学び方の方向性として示された。</p> <p>○新学習指導要領では、児童生徒が学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組む「主体的な学び」、児童生徒同士や教職員等との対話を手掛かりに自己の考えを広げる「対話的な学び」、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、自ら問題を見いだして解決策を考えたりする「深い学び」を実現する授業を目指すことが明記されている。</p> <p>○「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」の考え方で授業は、これまでも各学校で実践され、多くの研究成果が共有されてきたところだが、より一層、これらの視点に沿った授業改善に取り組んでいくことが求められている。</p> <p>○各学校では、市教委が主催する研修講座の受講や、計画的に実施する校内での授業研究会、日々の授業実践等、全校体制で授業改善に取り組んでいる。</p> <p>○市教委としては、「学校教育指導の方針と重点」に、今年度新たに「主体的・対話的で深い学び」の実現を、重点施策として位置付け、小・中学校の校長や教頭を対象とした研修会に加え、校内研修を支援することを目的とした学校訪問において、全教師に周知を図っているところである。</p> <p>○さらに、目指す授業の具体像について共通理解を図るために、「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる授業実践を、市教委のデータベースに登録し、市内の全教師が自由に閲覧できるようにしている。</p> <p>○今後も、各学校において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が推進されるよう、学校訪問及び研修講座等を通じて、具体的に指導助言していく。</p>
担当課	教育指導課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	高橋 一馬 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(1) 新学習指導要領について イ 小学校英語教育について
質問内容	32 年度から、正式に小学校第 3・4 学年で外国語活動、第 5・6 学年で外国語科が実施されるにあたり、増加する授業時数をどのように確保するのか、見通しを伺いたい。 また、小学校における英語の指導について現状を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○小学校の授業時数については、現在、小学校第 5・6 学年において年間 35 単位時間実施しているところだが、32 年度より第 3・4 学年において「聞くこと」、「話すこと」を中心とした「外国語活動」を年間 35 単位時間、第 5・6 学年において段階的に文字を「読むこと」、「書くこと」を加えた「外国語科」を年間 70 単位時間実施することとなる。</p> <p>○これにより、32 年度から全ての小学校の第 3 学年から第 6 学年において、授業時数が年間 35 単位時間、週当たりで 1 コマ増加することとなる。</p> <p>○当市では、県の研究指定を受けた小学校をはじめ、複数の小学校において、週当たりの授業時数を増やしたり、1 コマを分割して行う短時間学習を設定したりするなど、様々な試みが始まっており、今後、児童の学習負担や指導の効果等の観点から成果と課題が検証されることとなる。</p> <p>○小学校における英語の指導については、市総合教育センターにおいて研修講座を実施するとともに、学校訪問を通じて指導助言を行い、学校支援に取り組んできた。</p> <p>○さらに、各小学校の教師は、文部科学省及び県教育委員会が実施する研修会や、市小学校教育研究会を中心に行われている研究会に参加するなど、指導力の向上に努めている。</p> <p>○また、小・中学校ジョイントスクール推進事業を活用して、近隣の中学校英語担当教師から助言を受けるなど、中学校と連携した取組も行われている。</p> <p>○加えて、今年度より小学校英語の専科指導教員の制度が開始され、当市においては、中学校英語の免許状を持つ小学校教師 2 名が、複数校を兼務する形で配置されている。</p> <p>○市教委としては、県の研究指定校等における取組の成果と課題を踏まえ、平成 32 年度から小学校英語教育が円滑に実施できるよう、各種会議や研修講座、学校訪問等の機会を通じて、情報提供及び支援に努めていく。</p>
担当課	教育指導課

## 資料（提出様式）

## ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	これまでの取組の効果をどのように感じているか、教育長の所見を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○今年度から新学習指導要領の一部が実施されることとなり、小学校第3学年から第6学年において授業時数を確保して取り組んでいる。</p> <p>○授業では、ALTと呼ばれる外国語指導助手と共に指導したり、英語の音声や映像資料が収録されたデジタル教材を活用したりするなど、児童が英語に触れる機会を多く設定した授業づくりが推進されている。</p> <p>○これらの取組が、英語を使って自分の考えや気持ちを伝え合う力の育成に資するものと感じている。</p> <p>○今後も、学校訪問等を通じて各学校の現状を把握しながら、指導助言や支援に努めていく。</p>

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	高橋 一馬 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(2) スポーツ・文化活動、部活動への大会派遣補助について
質問内容	部活動の大会派遣補助金の概要と活用状況、今後の方向性について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市では、児童生徒のスポーツ・文化活動の推進を図ることを目的として、県大会以上の大会へ出場するための交通費の一部を補助している。</p> <p>○対象は、部活動の大会に出場する生徒及び引率者1名とし、補助金額は一人あたり県大会であれば2,000円、東北大会であれば3,000円、全国大会であれば5,000円としている。</p> <p>○29年度は、市内小、中学校の運動部、文化部に対し、県大会1,116名、東北大会451名、全国大会214名の計1,781名を対象に4,580,120円の補助を行った。</p> <p>○当補助金により、児童生徒のスポーツ、文化活動の推進に一定の役割を果たしているものと認識している。</p> <p>○平成30年3月予算特別委員会で高橋議員から御指摘のあった他市の状況について県内9市を調査したところ、対象の大会、対象経費、支給割合等についてすべて異なっており、それぞれの実情に応じて決定していることが分かった。</p> <p>○市教委では、他の自治体の助成制度の状況や、当市の他の類似助成制度との整合性を勘案しながら、今後の補助金のあり方について検討していきたいと考えている。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	他市の状況を勘案しながら、検討していただきたい。

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	学校における ICT 環境整備について
質問内容	文科省は、新学習指導要領の実施を見据え、「平成 30 年度以降の学校における ICT 環境の整備方針」を示しているが、当市の学校における ICT 環境整備について現状と取組の成果、ならびに今後の整備・拡充に向けた取組を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市としては、以前より国の整備方針に沿って、計画的な ICT 環境整備を進めてきており、その中で、プロジェクタと実物投影機の整備については、国で求めている整備率を上回っている。</p> <p>○しかし、学習者用コンピュータについては、1 台あたり 3 人程度とする国の方針と比較すると、小学校では、1 台あたり 5.1 人、中学校では 1 台あたり 3.8 人の整備率にとどまっている。</p> <p>○導入後の成果については、実物投影機がほぼすべての学級に整備済みであり、日常的に活用されている小学校、教員が作成したスライドをプロジェクタで提示するなど、「大きく、分かりやすく」という視点での ICT 活用が浸透している中学校、ともに児童生徒の理解を深める一助となっている。</p> <p>○また、文科省が 28 年度に行った調査では、「教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用できる教員」の割合は 86%、「授業中に ICT を活用して指導できる教員」の割合は 78%である。これは、全国平均の 84%、75%を上回り、ここ数年大きな伸びを示しており、ICT 環境整備が充実したことに伴い、教員の指導力が向上したことを反映しているものと考えている。</p> <p>○今後も国の整備方針を踏まえて、新学習指導要領に沿った授業を実施できるよう ICT 環境整備を進めていくと同時に、平成 29 年 10 月に文科省が公表した「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を踏まえたセキュリティ対策として、個人情報等の漏洩を防ぎ、安心してネットワークを利用するためのセキュリティの強化などに努めて参りたい。</p> <p>○これからも「わかった！できた！身についた！」が実感できる授業づくりを目指し、安全なネットワーク環境づくりと、教員の指導力・授業力アップを目指す研修の充実に力を入れて参りたい。</p>
担当課	総合教育センター

## 再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○1 台あたり 3 人の学習者用コンピュータの整備と、ICT 支援員の配置やネットワーク整備を含めた早急な ICT 環境整備計画と予算措置。

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	プログラミング教育について
質問内容	文科省は新学習指導要領において、小学校で新たにプログラミング教育の実施を明示しているが、当市のプログラミング教育導入の方向性について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○プログラミング教育とは、プログラム言語を覚えることが目的ではなく、学習ソフトを使ってコンピュータに意図した処理を行うよう指示する体験をさせながら、論理的・創造的に考えさせ、解決の方向性を自ら見いだす力を育成することを目的としている。</p> <p>○そこで、文科省は「小学校プログラミング教育の手引」を公表し、教育委員会においては、円滑な実施に向けて、各学校における取組を促し支援する体制を整え、計画的に進めることが必要であると提言している。</p> <p>○市教委では、これを受けて昨年度は、「プログラミング教育導入に向けたガイドライン」を策定し、各学校に今後の方針について説明を行った。</p> <p>○「ICT活用研修講座」でもプログラミング教育の意義について取り上げ、さらに今年度からは、研修講座の他、各校の校内研修や教育研究会の講習会等に出向き、「授業におけるプログラミング教育」について指導・助言を行っている。</p> <p>○また、総合教育センターで行っている市民を対象とした公開講座では、簡単なアニメーションやゲームを作りながらプログラミング体験を行い、小学生24名、市民9名の参加があった。</p> <p>○このように、現在はプログラミング教育実施に向けて周知を行う段階であり、来年度は実際の授業の在り方について研究を進めていく段階と捉えており、「プログラミング教育研修講座」を新規開設する予定である。</p> <p>○今後も本市の「プログラミング教育導入に向けたガイドライン」に従って、新学習指導要領実施までに、全教員が授業においてプログラミング教育を行っていただけるよう、研修講座や学校訪問等を通して指導・助言して参りたい。</p>
担当課	総合教育センター

## 再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	